

アートをやる

Doing Art

セイカは「表現で世界を変える人を育てる」と公言していますが、表現が展示やライブ、掲載・出版や放映、商品化といったかたちで発表されるに至るまでのつくり手たちの困難はどれほどのものでしょうか。発表にたどり着くことなくあきらめざるを得なかった表現もあるでしょう。ほとんど誰の目にも触れることなく忘れられていった表現もあるでしょう。表現が苦手だったり、あえて表現を避けたりする人もいられるかもしれません。そこでこのイベントでは、学生の皆さんの表現活動に関する悩みや、表現に関していま考えていることについて、長谷川さんに相談にのっていただきます。展示会を企画することだけが主たる仕事と思われがちなキュレーターも、セイカのうたう「考え、行動し、発信する」という表現活動の担い手のひとりです。レクチャーでは、キュレーターの長谷川さんがふだんのようなことをされ、どのようにして表現活動に関わっていらっしゃるのかお話しいただき、学生の皆さんからの質問にも答えていただきます。

インディペンデントキュレーターの長谷川新が、セイカの学生の皆さんの表現活動に関する相談にのります

インディペンデントキュレーターの長谷川新さんをお迎えし、国際文化学部、メディア表現学部、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部のすべての学生の皆さんを対象に、表現活動に関する相談にのっていただきます。また、レクチャーでは、キュレーターという仕事について長谷川さんにお話しいただきます。

開催日時 2021年10月21日(木)
個別相談 11:00～16:00 悠々館2F飲食スペース
レクチャー 16:30～17:30 春秋館S101
Q&A 17:30～18:00 春秋館S101
お問合せ 展示コミュニケーションセンター(担当:緒方) / 溪流館R230
tencomission@gmail.com

※ 個別相談は、【最長30分/1人・1組】です。
※ 感染症対策のため、全てオンラインで開催となる場合もあります。

申込方法

- ① 申込用紙に入力!
10月1日に
セイカ・ポータルに掲示
- ② tencomission@gmail.com に送信!
10月14日以降、展示コミュニケーションセンターから
予約時間を順次連絡します。

◎ 当日は、展示コミュニケーションセンター員はじめ他の学生にある程度聞こえても差し支えない相談を受け付けます。プライバシーを考慮すべき相談については、長谷川さんと展示コミュニケーションセンターの判断により専門家に繋げていただくなど別途対応します。◎ 申込件数が多い場合は当日の相談は先着順とし、当日予約を取れなかった人たちについては、後日オンラインで長谷川さんに相談にのっていただきます。

ドット絵制作: たかくらかずき



長谷川新

インディペンデントキュレーター。
1988年生まれ。京都大学総合人間学部卒(文化人類学専攻)。主な企画に「無人島にて—80年代」の彫刻/立体/インスタレーション(2014、京都)、「パレ・ド・キョート/現実のたてる音」(2015、京都)、「クロニクル、クロニクル1」(2016-17、大阪)、「不純物と免疫」(2017-18、東京、沖縄、バンコク)、「STAYTUNE/D」(2019、富山)、「グランリバーズ」(2019-、メキシコシティ)、「約束の凝集」(2020-2021、東京)など。国際美術評論家連盟会員、国立民族学博物館共同研究員、日本建築学会書評委員、日本写真芸術専門学校講師、PARADISE AIR ゲストキュレーター、相談窓口SNZ(シノバス)を準備中。